

- Wang, X.-R., Tsumura, Y., Yoshimaru, H., Nagasaka, K. & Szmidt, A. E. 1999. Phylogenetic relationships of Eurasian pines (*Pinus*, Pinaceae) based on chloroplast *rbcl*, *matK*, *rpl20-rps18* spacer and *trnV* intron sequences. *American Journal of Botany* 86: 1742–1753.
- 渡辺敦史・白石 進・川瀬英治・戸田忠雄・那須 孝 .1996 .DNA マーカーによるアカクロマツ (*Pinus × densitunbergii*) のゲノム解析 その雑種性の検証 . 日本林学会誌 78: 293–300.
- Watano, Y., Imazu, M. & Shimizu, T. 1996. Spatial distribution of cpDNA and mtDNA haplotypes in a hybrid zone between *Pinus pumila* and *P. parviflora* var. *pentaphylla* (Pinaceae). *Journal of Plant Research* 109: 403–408.
- Wu, J., Krutovskii, K. V. & Strauss, S. H. 1998. Abundant mitochondrial genome diversity, population differentiation and convergent evolution in pines. *Genetics* 150: 1605–1614.
- 山田昌久 .1993 . 日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成 用材から見た人間・植物関係史 . 植生史研究特別第1号: 1–242.
- Yasue, M., Ogiyama, K., Suto, S., Tsukahara, H., Miyahara, F. & Ohba, K. 1987. Geographical differentiation of natural cryptomeria stands analyzed by diterpene hydrocarbon constituents of individual trees. *Journal of Japanese Forestry Society* 69: 152–156.

(2001年1月15日受理)

書 評：塚谷裕一 .2001 . 植物のこころ (岩波新書 新赤版 731). ii + 211 + 6 pp . ISBN 4-00-430731-7 . 岩波書店 , 東京 . 本体価格 700 円 .

著者は、モデル植物であるシロイヌナズナを用いて、遺伝子の働きと葉の形態形成を解析し、それをもとに葉の形態を進化学的に位置づけることを専門とされている。しかし一般には、稀代の文筆家として名をはせておられ、少年時代からの植物趣味を生かして、植物に関連する様々な著書をもしておられる。

本書は、そうした著者が植物の生き様を、植物の個体および形を中心として、さまざまな側面から紹介するものである。その語り口は、現代植物学の最先端の成果をもとに、植物の生の法則性と多様性を平易に解説するもので、ひじょうに多くの話題が取りあげられているにもかかわらず、全体として統一のとれた読み物となっている。とくに動物と対比しながら、植物にごく普通にみられるクローンの意味を考察したり、植物細胞が融通無碍に分化していく全能性を、これも動物細胞と対比して解説している部分などは、なかなか他の書物には見られないもので、植物を扱っているものにとっても、植物の生を再認識させるものであろう。

一般の読者にとって植物の本というと、片仮名で記された和名が単なる記号のごとく頻出して嫌になるものであるが、本書では、取りあげられているほとんどの植物が写真で紹介されており、親しみのもてる本となっている。そのうちのほとんどは著者の撮影されたもので、東南アジアの熱帯からヒマラヤの高山帯あるいはアラスカの寒帯と、広く歩いて実物の植物を観察されている経験が、本書の内容に反映されていることは明らかである。

本書の構成は以下のものである。

はじめに 植物の生命

I 存在

- 1 個のありかた
- 2 性の意味
- 3 融通無碍な体 全能性
- 4 花の設計図
- 5 花芽を作るとき
- 6 世界をとらえる 光・重力・音

II 戦略

- 7 天へ向かって 「つる植物」の生き方
- 8 利用できるものは利用する 着生・寄生・腐生
- 9 入居者募集 アリ植物とダニ植物
- 10 捕らえる 食虫植物
- 11 ポリネーター 昆虫を利用する花 1
- 12 だます 昆虫を利用する花 2

III 適応

- 13 ヒマラヤの高みで
- 14 水の中で生きる

あとがきにかえて

参考文献

巻末の参考文献には、大学の学部生レベルの入門書あるいは概説書と、最先端の研究成果を報告した論文が紹介されており、先に読みすすむうえでの手助けとなっている。

(能城修一)